



ある精肉店のはなし

映画と講演

「映画をとおして人権を考える」

第1回人権問題講演会 (入場無料)

日時：8月2日(土)13:30～

場所：コムズ5階 大会議室

映画：「ある精肉店のはなし」

2013年ドキュメンタリー作品 / 108分

講演：「ある精肉店との出会い」

監督 纈 纈 あや

Do  
NPO 法人  
同和問題を考える市民の会

映画と講演

## 「映画をとおして人権を考える」

第1回人権問題講演会(入場無料:定員100名:申し込みは不要です)

日 時 8月2日(土)13:30~16:30

場 所 コムズ 5階 大会議室

映 画 : 「ある精肉店のはなし」2013年ドキュメンタリー作品

大阪貝塚市での屠畜見学会。牛のいのちと全身全霊で向き合うある精肉店との出会いから、この映画は始まった。

家族4人の息の合った手わざで牛が捌かれていく。牛と人の体温が混ざり合う屠場は、熱気に満ちていた。店に持ち帰られた枝肉は、丁寧に切り分けられ、店頭に並ぶ。皮は丹念になめされ、立派なだんじり太鼓へと姿を変えていく。

家では、家族4世代が食卓に集い、いつもにぎやかだ。家業を継ぎ7代目となる兄弟の心にあるのは、被差別部落ゆえのいわれなき差別を受けてきた父の姿。差別のない社会にしたいと、地域の仲間とともに部落解放運動に参加するなかで、いつしか自分たちの意識も変化し、地域や家族も変わっていった。

2012年3月。代々使用してきた屠畜場が、102年の歴史に幕を下ろした。最後の屠畜を終え、北出精肉店も新たな日々を重ねていく。いのちを食べて人は生きる。「生」の本質を見続けてきた家族の記録。

講 演 : 「ある精肉店との出会い」

監督 : 瀬 瀬 あや さん

北出さん家族と一緒にいるときも、地域にいるときも、私は大きな安心感に包まれていた。

生まれ出た場所で、自分が自分として生きること。それを考え抜き、生き抜いてきた彼らは、しなやかでありながら揺るぎなく、そして果てしなく慈愛に満ちていた。



# Do

主催:NPO法人「Do」  
(松山市委託事業)

後援:松山市教育委員会・松山市公民館連絡協議会・松山市人権教育推進協議会  
愛媛新聞・NHK松山放送局・南海放送・テレビ愛媛・FM 愛媛・あいテレビ  
愛媛朝日テレビ・愛媛 CATV・リビングまつやま